

「裸眼」をとりもどそう

レーシックへの不安にお答えします

Q 何歳ごろに手術を受けるのがいいのでしょうか？

一般的には近視の進行が緩やかになる20歳以上が望ましいでしょう。40歳以上の「老眼年齢」の方でも、術後の見え方について十分ご理解いただければ大丈夫です。

Q レーシックのあとで白内障手術を受けられますか？

レーシックを受けたからといって白内障になりやすいということはありません。レーシックの経験者でも、将来白内障手術が必要になれば受けることができます。

Q 術後のアフターケアはどここの病院でもできますか？

アフターケアは、手術を受けた病院で継続することをおすすめします。何かの理由で通院が難しい場合は、担当医に相談して病院を紹介してもらいましょう。

Webサイトも
ご覧ください

日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS)

レーシック情報

<http://www.jscrs-lasik.org/>



レーシック
について

もっと詳しく知りたい方は…

ラジオNIKKEI番組 2017年10月放送(2回シリーズ)

「裸眼」をとりもどそう

出演: ビッセン宮島弘子先生 聴き手: 山本舞衣子アナウンサー

オンデマンド配信サイト MEDICAL LIBRARY (放送後約2年間 聴取できます)

<http://www.radionikkei.jp/lasik/>

スマートフォン等のバーコード読み取りアプリで右のQRコードを読み取ることによりオンデマンド配信サイトに接続できます

パソコンや
スマートフォンで
聞くことが
できます



エイムオー・ジャパン 株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 TEL.03-5402-8920 FAX.03-5402-8593

Johnson & Johnson VISION

I033MILAS-17Q450000



「裸眼」をとりもどそう

一人ひとりに
合わせた
視力矯正を

「視力矯正手術」に関するラジオ番組を
スマートフォン等で聞くことができます



監修: ビッセン宮島 弘子先生
東京歯科大学 水道橋病院 眼科教授

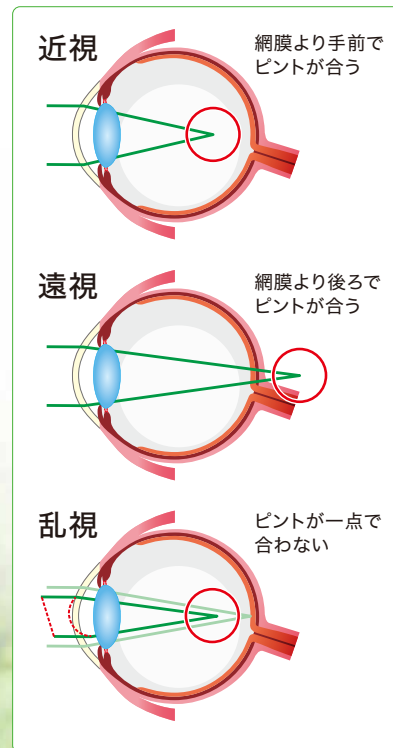
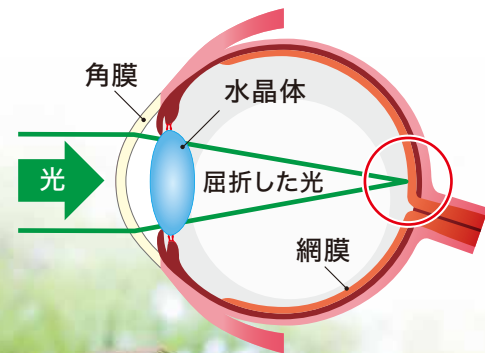
視力矯正とは、レーシックとは

知っていますか？ 視力矯正のこと

近視・遠視・乱視とは、角膜や水晶体で光が屈折異常をおこし、網膜にピントが合わない状態をいいます。一般的にはメガネやコンタクトレンズで「視力矯正(屈折矯正)」を行います。手術による矯正も行えます。

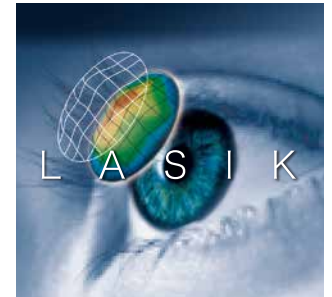
健康な目(正視)

網膜にピントが合っている



視力を矯正できる「レーシック手術」

レーシック(LASIK:レーザー角膜屈折矯正手術)は、レーザーを角膜にあて、屈折力を変えることで、近視・遠視・乱視を矯正します。レーシックにより、裸眼での生活が可能になります。



レーシックとはどんな手術？

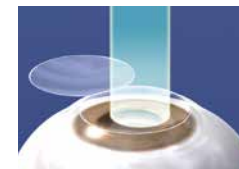
レーシックは、広く普及した完成度の高い視力矯正手術です。必要な検査を受け、適応とされた方が手術を受けることができます。

レーシック手術の流れ

- ①点眼により麻酔を行います
- ②角膜表面を切除しフラップ(ふた)を作ります
- ③フラップをめくり角膜の実質層を露出させます



- ④レーザーを照射して形状を整え視力を矯正します



- ⑤フラップを元の位置に正しく戻します



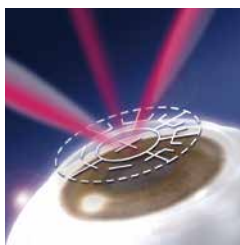
- ⑥フラップは自然に吸着します



一人ひとりの目に合わせた、安全・正確なレーシック

高精度な検査データをもとに 安全なレーザー照射で正確に手術

角膜の形状は一人ひとり異なります。レーシックでは、角膜の厚さや歪みを詳細に解析し、マップデータを作ります。また角膜に照射するレーザーは、安全性の高いものです。検査データに基づき、極めて短時間で正確な手術が行えます。



レーシックに“リスク”はあるの？

手術は安全を確認して行いますが、ドライアイや、光をまぶしく感じるグレア・ハローなどが起きる可能性があります。また感染症等のリスクもゼロではありません。

詳しくはWebサイトで

日本白内障屈折矯正手術学会
「レーシック情報」



こんな方がレーシックに向いています

- ドライアイ等によりコンタクトレンズが使えない方
- 左右の視力の差が大きく、メガネでは矯正が難しい方
- コンタクトレンズやメガネをわずらわしく感じている方
- スポーツをするためメガネなどが不便な方
- 地震など災害で避難する際、今の視力では不安な方
- 現在の視力では仕事に支障がある方



手術に適応しているか確認しよう

レーシックを受けられる条件

チェックしてみよう!

- 18歳以上（未成年の場合は親権者の同意が必要）
- 軽～中等度の近視である（屈折値が-6Dまで、場合により-10Dまで）
- 遠視、乱視は6D以内である
- 近視の度数が安定している（少なくとも1年、できれば1年半以上）
- 角膜の厚みが十分ある（一般的に0.5mm以上）
- 角膜の形が正常である
- 他の目の病気がない（白内障・緑内障・糖尿病網膜症・ブドウ膜炎など）
- 傷の治りに影響する重症な糖尿病やアトピー性疾患がない
- 妊娠中・授乳中ではない
- 過度に神経質または精神的に不安定ではない

*分からない項目は医師に相談しましょう



レーシックと年齢との関係

40代以上の方: 近くが見えにくい「老眼」を自覚する40代以上の方は、検査に十分な時間をかけて、「過矯正」で近くが見えにくくならないよう、適切な度数の矯正を行う必要があります。

10代・20代の方: レーシックは、その時点での視力を矯正するものです。近視が進行中の10代・20代の方は注意が必要です。



レーシックで裸眼をとりもどし、生活の質を向上させよう

手術後、多くの方が視力1.0以上に

日本白内障屈折矯正手術学会が行った調査で、レーシックを行った患者様の95%が裸眼視力1.0以上と報告されました。十分な手術前の検査、担当医との密接なコミュニケーション、手術後に指示されたケアや通院を守ることで、満足できる効果が期待できます。

満足できる
レーシック手術のために

手術前の十分な検査

担当医とのコミュニケーション

手術後のケアと通院

生活の様々な場面で視力を実感

日常生活やビジネスシーンで、メガネやコンタクトレンズから解放されることで、QOV (Quality of Vision: 総合的な見え方の質) を向上させ、アクティブで豊かな生活に貢献します。



学会アンケート調査の概要

日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS) サーベイワーキンググループによる調査報告*

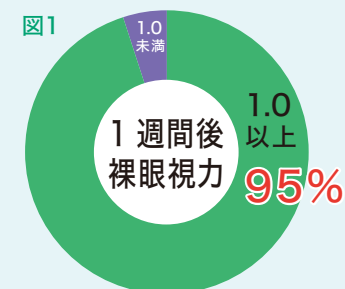
レーシック手術の安全性と有効性が確認されました

2015年に実施された1万5千件以上の屈折矯正手術症例に関するアンケート調査結果から、手術後1週間で、裸眼視力1.0を達成できた症例は95%でした (図1)。

また手術後の感染症の発症は一例も認められませんでした (図2)。

以上の結果から、レーシックは安全性や有効性の高い優れた屈折矯正手術であると考えられます。

調査時期: 2015年
調査対象: 国内42施設
調査件数: 15,011症例
(7,622人)



手術後1週間で、裸眼視力1.0以上の症例が95%



手術後の感染症の発症は1例も認められない



* Kazutaka Kamiya et al.,
Am J Ophthalmol 2017;175:159-168